硬貨の 確率 ドリル⑤

中2／ドリル 項目4 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

・「硬貨」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。 全部で 25点・15分。選ぶ 問題は 正しい 答えを 1つだけ ○で かこむ。書く 問題は 四角に 書く。確率は 約分した 分数、場合の数は 数だけ。
・大問4の 説明は、自分の ことばで 枠に 書く。
・金額の 問題は、表が 1枚も 出ない ときを 合計 0円と して 数える。大問2は 余白に 書き出して 数えて よい。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) 硬貨6枚を 同時に 投げる。全部の 出方は 何通り？

12通り　64通り　36通り

(2) 硬貨4枚を 同時に 投げる。
表が ちょうど 3枚 出る 確率は？

$\frac{1}{4}$　$\frac{1}{2}$　$\frac{3}{8}$

(3) 5円・10円・100円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。
表が 出た 硬貨の 合計が 110円以上に なる 出方は 何通り？

3通り　1通り　2通り

大問2 求める

各3点（9点）

(1) 硬貨5枚を 同時に 投げる。表が ちょうど 2枚 出る。

確率 ＿＿＿＿

(2) 10円・20円・40円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。表が 出た 硬貨の 合計が 40円未満に なる。

確率 ＿＿＿＿

(3) 10円・25円・50円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。表が 出た 硬貨の 合計が 35円以上に なる。

確率 ＿＿＿＿

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) さくらさん「硬貨8枚を 同時に 投げる。全部の 出方は 2+2+2+2+2+2+2+2 = 16 通り」

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

(2) けんたさん「20円・30円・100円の 硬貨を 1枚ずつ 投げる。表の 合計が 30円以上に なる 確率。
全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8 通り。合う 出方は 6 通りだから 確率は $\frac{3}{4}$」

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

大問4 説明する

6点

硬貨3枚を 同時に 投げるとき、全部の 出方を 2+2+2 = 6通りと 数えるのは まちがい。
どこが まちがいか、「かけ算」の 語を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

硬貨の 確率 ドリル⑤【こたえ】

中2／ドリル 項目4 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) 硬貨6枚を 同時に 投げる。全部の 出方は 何通り？

12通り / **64通り** / 36通り

(2) 硬貨4枚を 同時に 投げる。
表が ちょうど 3枚 出る 確率は？

$\frac{1}{4}$ / $\frac{1}{2}$ / $\frac{3}{8}$

(3) 5円・10円・100円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。
表が 出た 硬貨の 合計が 110円以上に なる 出方は 何通り？

3通り / 1通り / **2通り**

大問2 求める

各3点（9点）

(1) 硬貨5枚を 同時に 投げる。表が ちょうど 2枚 出る。

確率 **$\frac{5}{16}$**

(2) 10円・20円・40円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。表が 出た 硬貨の 合計が 40円未満に なる。

確率 **$\frac{1}{2}$**

(3) 10円・25円・50円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。表が 出た 硬貨の 合計が 35円以上に なる。

確率 **$\frac{5}{8}$**

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) さくらさん「硬貨8枚を 同時に 投げる。全部の 出方は 2+2+2+2+2+2+2+2 = 16 通り」

正しい / **まちがい**

正しい答え **256**

(2) けんたさん「20円・30円・100円の 硬貨を 1枚ずつ 投げる。表の 合計が 30円以上に なる 確率。
全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8 通り。合う 出方は 6 通りだから 確率は $\frac{3}{4}$」

正しい / まちがい

正しい答え **同じ**

大問4 説明する

6点

硬貨3枚を 同時に 投げるとき、全部の 出方を 2+2+2 = 6通りと 数えるのは まちがい。
どこが まちがいか、「かけ算」の 語を 使って 説明しなさい。

1枚目の 2通りの それぞれに、2枚目の 2通りが 続き、さらに
3枚目の 2通りが 続くので、かけ算で 2 × 2 × 2 = 8通り。
たし算では 数えられない。
（2点：1枚ごとに 2通りと 示す／2点：続けて 起こるので かけ算と 言える／2点：「かけ算」の 語を 使い 8通りに なる）

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

1(1) 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 = 64。(2) 4枚で 表が 3枚は 4通りで $\frac{1}{4}$。(3) 110円以上は 110・115円の 2 通り。

2(1) 5枚で 表が 2枚は 10通り、全部で 32通りで $\frac{5}{16}$。(2) 40円未満は 4通りで $\frac{1}{2}$（40円は 入れない）。(3) 35円以上は 5通りで $\frac{5}{8}$。

3 は 各2点（○かこみ 1点＋四角 1点）。(1) は 8枚を たし算で 16 と している（正しくは 256）。(2) は 正しい（6通り）。

4 は 6点。1枚ごとに 2通り／続けて 起こるので かけ算／「かけ算」の 語を 使い 2 × 2 × 2 = 8通り（各2点）。

別解の 扱い：確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は × ）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。